

日本原電前抗議行動プログラム

～絶対に老朽原発を再稼働させてはいけない～

- 17:00 開始 開会のあいさつ：横田朔子(司会、首都圏連絡会)
 17:01 主催者スピーチ：柳田真(首都圏連絡会)
 17:06 脱原発スピーチ：披田信一郎さん(東海第二原発の再稼働を止める会)
 17:16 参加者スピーチ①：寺澤文子さん(元千代田区議)
 17:21 参加者スピーチ②：長谷川みえこさん(千代田区議、千代田を紡ぐ会)
 17:26 申入書受け渡し：久保清隆(首都圏連絡会)
 17:31 申入書受け渡し：けしば誠一さん(反原発自治体議員・市民連盟)
 ～¥100カンパコール～
 17:36 日本原電前アクション音楽開始
 ～♪日本原電前音楽アクションメドレー2022.10.5～
 日本原電6人衆(今回は5人。ジョニー・H、坂本達夫、マールハート・バンド、
 右田春夫)による日本原電抗議ソング3曲のメドレー演奏
 17:46 行動提起：志田文広(首都圏連絡会)
 17:47 シュプレヒ・コール：中村泰子(首都圏連絡会)
 17:48 閉会のことば：横田朔子(司会、首都圏連絡会)
 17:49 終了(予定)

この後は
東電前だ!みんな、この後は東電前に
行って抗議するのだ!

～このあと18:30からは東京電力本店前にて抗議行動です!～

とめよう!東海第二原発首都圏連絡会の行動予定

- 2022年 11月27日(日) 11.27廃炉デー集会(場所:文京区民センター)
 12月2日(金)～4日(日) 一斉行動・第6波(場所:首都圏を中心に各地)
 12月7日(水) 第53回日本原電前抗議行動(その後、東電前行動)
 2023年 1月11日(水) 第54回日本原電前抗議行動(その後、東電前行動)
 1月15日(日) たんぼ舎集中討議
 1月下旬 'とめよう!東海第二原発首都圏連絡会' 集中討議

このように年末から年始にかけて集会、討議があります。

まず、11月27日に11.27廃炉デー集会にて首都圏連絡会・会員はじめ多くの東海第二の廃炉を目指す人たちが集まり、原電が再稼働開始とする2024年9月までどのように闘うかを徹底討論します。さらに来年1月15日、たんぼ舎にて22年後半の振り返りや今後の行動について徹底討論します。そのうえで、'とめよう!東海第二原発首都圏連絡会' 集中討議を行います。

これらの集会、討議は一連で行うことで東海第二再稼働阻止の運動をより効果的なものとなります。これらのすべてに参加してより大きな'東海第二再稼働阻止'のうねりをつくりましょう!

日本原電前音楽アクション2022.11.2メドレー歌詞

♪原電前の闘志 by右田春夫 元歌(Dust in the wind)

忘れろというのか 血塗られたもの歴史よ 原発事故
 廃炉を求める者は 死ねというのか 命守り戦う勇気など持つなど
 血塗られたもの歴史よ 原発事故
 廃炉を求める者は 死ねというのか 命守り戦う勇気など持つなど
 熱き胸切り裂かれて 倒れ伏す者と 助ける血塗れの腕が 土を血で染める
 朝日が登り夕日が沈む海よ 美しき島々や偉大な山河の陸よ
 我ら小さく弱くとも 諦めはしない 再び立ち上がるのだ その土を握りしめて
 再び立ち上がるのだ その土を握りしめて オー—————



♪君と僕の未来 byマールハート・バンド

青い空と緑の大地と青い海を守れ!!
 母が心こめて育てた 野菜たちを守れ
 東海第二はいらない! いらない! ふるさとを守れ 守れ!!
 東海第二はいらない! いらない! ふるさとを守れ 守れ!!
 青い空と緑の大地と青い海を守れ!!
 父が採った美味しい魚を 放射能汚染から守れ
 東海第二はいらない! いらない! ふるさとを守れ 守れ!!
 東海第二はいらない! いらない! ふるさとを守れ 守れ!!
 青い空と緑の大地と青い海を守れ
 君と僕の未来守れ!! 子ども命を守れ!!
 東海第二はいらない! いらない! ふるさとを守れ 守れ!!
 東海第二はいらない! いらない! ふるさと守れ!! 守れ!! ふるさと守れ!! 守れ!!

みんなで
歌うにゃん!

♪今になってガタガタ言うな総理の岸田 byジョニーH

元歌 (Please don't talk about me when I'm gone)
 今になってガタガタ言うんじゃないよ 総理の岸田
 国民騙してごたくを並べてさ
 テロ対策できてねえのによ 説明なしで再稼働かよ
 ミサイル飛んできた核爆発で 避難訓練なんてお笑いサル芝居
 電気料金値下げは特殊詐欺 補助金は全て日本原電や東電に回っちゃうぜ
 今になってガタガタ言うんじゃないよ 総理の岸田
 国民騙してヘラヘラ笑ってさ
 カルト教団の言い付け通り アベの国葬 そして憲法いじり原発再稼働
 新しい時代の原発なんてあり得ない 新しい特殊詐欺の始まりだぜ
 カルト議員そのままにしてさ 間かぬ存ぜぬ怪しい資本主義

※下線・斜字はみんなで歌いましょう!

『申し入れ書』

2022年11月2日

日本原子力発電株式会社
取締役社長 村松 衛 様

岸田首相は「GX 実行会議」において突然原発政策の大転換を公表しました。一、再稼働原発7機の追加 一、原発運転40年ルールの見直し 一、新原発の研究・建設 といったことですが、これまでの原発政策をすべて反故にするものでまさに岸田政権の大暴走で国民を冒瀆するものであり断じて許されないことと思います。東海第二原発は工事の遅れを理由に再稼働予定を2024年9月以降に延期していますが、運転ありきの岸田政権の今回の原発政策は安全性を無視した大変無責任な提起だと思います。貴社はこの事態をどのように捉えているかお考えをお聞かせ下さい。

その上でお聞きしますが、東海第二原発も再稼働指定に入っていますが貴社はこの東海第二原発の安全性を100%保証できるのでしょうか？ 先日再稼働しようとした高浜原発3号機が原子炉内の高温異常により再稼働中止になりました。老朽原発の危険性はかねがね言われてきたことで東海第二原発の安全性も改めて徹底調査すべきだと思います。原子炉内の安全点検はどのように行い、何を持って安全と判断しているのかお答え下さい。また、9月13日に東海第二原発の変圧器で火災を起していますが、何が原因で火災が起きたのか、これについても調査結果をきちんと公表して下さい。

東海第二原発差止訴訟についてお聞きします。この訴訟の控訴審が東京高裁で始まりますが、避難計画など到底出来ないのは明白です。10月18日には東海村で90Km先の守谷市に避難するという訓練が行われたそうですが、たった住民300名程度の参加で訓練というのはただのアリバイづくりだと批判があります。貴社はこの程度の訓練でよしと考えているのでしょうか、お考えをお聞かせ下さい。

最後に、原子力規制委員会は10月26日に敦賀原発2号機の再稼働審査を開始する決定をしましたが、貴社はこれまでデータの改ざん問題をおこしてその責任を問われています。いまだに貴社への不信と疑惑は払拭されていません。再発防止にどのような対策を取っているのか明確にお答え下さい。そして本当に東海第二原発のデータに問題はなかったのかお答え下さい。

以上の質問に誠実にお答え下さることを強く要望します。

とめよう！東海第二原発首都圏連絡会

〒101-0061

東京都千代田区神田三崎町 3-1-1 1F たんぽ舎気付

電話：070-6650-5549

FAX：03-3238-0797

要請書

原電は、事故時の避難を保障できない東海第二原発再稼働を止めてください

日本原子力発電株式会社 取締役社長 村松衛 様

反原発自治体議員・市民連盟 共同代表

佐藤英行(岩内町議会議員) 野口英一郎(鹿児島市議会議員)

福士敬子(元東京都議会議員) 武笠紀子(元松戸市議会議員)

10月18日東海村は、東海第二原発の重大事故で放射性物質が漏れ出すことを想定し、守谷市へ約90キロ移動する避難訓練を実施。訓練には小学生含む村民が約290人、両自治体の職員、警察や原電の担当者など約200人が参加しました。訓練の参加者からは「リアリティがない」と指摘され、避難計画に実効性がないことが明らかになりました。

第一に、一斉に避難することは不可能なことです。参加者からは村職員に対し「訓練じゃなければ（事故の際は）高速道路の渋滞は絶対に起こる」との意見がありました。東海村は、全域が原発から5キロ圏内（PAZ）に入り、事故時には約3万8千人の村民全員が直ちに、原則自家用車で避難し、守谷市には約5千数百人が避難することになっています。実際には東海村だけでも車両は2千台から3千台が高速道路に集中することになり、500人足らずの訓練で「おおむね混乱なく終了」との村の評価には全く現実性がありません。

第二に、村民が被曝する危険性です。柏崎刈羽原発の差し止めを求める裁判で、住民は、昨年11月に新潟県が公表したシミュレーションをもとに、「避難には長時間かかる」と指摘し「被曝せずに避難することは不可能」と主張しました。これに対し原電に資金提供している東電は、「避難計画を含む原子力災害対策は『住民の被曝線量を、達成できる限り低くするための措置』を講じるもの」と反論し、一定の被曝は想定内と答えています。

第三に、参加者から「風下に逃げても仕方ない。風向きも知らせるべきだ」と指摘された点です。福島第一原発事故で、風下にあたる40キロ～50キロ先の飯館村や川俣町山木屋地区に避難した方々が被曝した事実があります。決められた避難先が風下になれば、安全な場所とは言えず、福島の教訓が生かされていません。

第四に、災害弱者の避難が不可能だという点です。東海第二原発の30キロ圏内の有床医療機関や入所型社会福祉施設における避難計画策定済みが、9月1日現在で医療機関が117カ所のうち41カ所（35.0%）、社会福祉施設は476カ所のうち290カ所（60.5%）であり、一年前とほとんど変わりません。「策定済み」の施設も避難に使う福祉車両やバスなどの確保の見通しはなく、バス会社等からは断られている実態です。

以上の状況から、避難計画は絵に描いた餅であり、住民の安全な避難を保障できないことが判りました。貴社原電に対し、東海第二原発の再稼働を断念し、再稼働工事を止めて、廃炉作業に専念することを求めます。

反原発自治体議員・市民連盟 東京都杉並区高井戸東 3-36-14-301

電話 090-5497-4222/fax03-5936-0311/seiichi@keshiba-shinjo.net